

平成29年度 第1回 小平市男女共同参画推進審議会 会議要録

日時：平成29年6月2日（金）午後1時30分～3時30分

場所：中央公民館2階 講座室2

1 出席者

小平市男女共同参画推進審議会委員：10人

2 傍聴者

0人

3 会議資料

- 資料1 小平市男女共同参画推進審議会委員名簿
資料2 平成28年度小平市男女共同参画推進審議会 学習会（第3回）要録
資料3 平成29年度 男女共同参画推進事業 年間予定表
資料4 小平アクティブプラン2.1 推進状況調査【平成28年度実績】調査票
資料5 小平アクティブプラン2.1 【第三次】進行管理シート（案）
資料6 男女共同参画週間講演会チラシ

4 内容

- ・事務局挨拶
- ・新委員あいさつ

5 議題

- （1）平成28年度男女共同参画推進審議会 学習会（第3回）（29.3.25）の振り返り
- （2）平成29年度事業予定及び審議会の取り組みについて
- （3）小平アクティブプラン2.1 推進状況調査【平成28年度実績】の調査票について
- （4）小平アクティブプラン2.1 【第三次】の推進について

6 会議記録（要約）

議題（1）平成28年度男女共同参画推進審議会 学習会（第3回）（29.3.25）の振り返り

⇒資料2：平成28年度小平市男女共同参画推進審議会 学習会（第3回）要録

会 長 : 議題(1)平成28年度男女共同参画推進審議会 学習会(第3回)(29.3.25)の振り返りについて事務局より説明を。

事務局 : 資料2 3月25日に会長主催の学習会として開催された、第3回学習会の要録を作成した。講師には、横浜市の政策局女性活躍・男女共同参画担当理事を男女共同参画センターにお迎えしてお話を伺った。審議会委員のほか、市の職員も男女共同参画担当以外に3人同席した。主に事業者向けにどのように市がアプローチして男女共同参画を推進しているのかをお話いただいた。

会 長 : 第3回学習会の振り返りをする。学習会の感想、会議録を読んでなど、各自2分程度で、順番にお話しいただきたい。大崎委員からどうぞ。

委 員 : 横浜市が事業者向けに男女共同参画を働きかけているものの、それほど広まっていないと感じた。多様な働き方があっても、それが働きたい方に伝わっていない。情報はあっても必要な人に伝わっていないと感じた。それを横浜市は理解して仲立ちして進めようとしている。すぐに成果は出ないだろうが、2者が結びついていくのは良いことだ。

会 長 : 横浜市は就職サポートセンターなどで人材と企業のマッチングに力を入れている。

委 員 : 横浜市役所へ企業から出向していることに驚いた。行政と民間の考え方が違う中ですり合わせもうまくいくのではないかと。横浜市の企画は行政とは違い、まるで企業が主体となって行っているようだった。市にない部分を民間で補いながら企画をすると、意識がそろいやすいのではないかと。

会 長 : 横浜市は政令指定都市なので、地域経済に対して権限があり、責任も重い。企業とも連携していかないと、市の経済自体が傾いてしまうということもあるだろう。

委 員 : 横浜市の健康福祉部がカルビーと行ったイベントで、20代女性の朝食の欠食率が高いとのことだった。自分も子どもの朝食には栄養等、気を使っているから、朝から元気に過ごせるように朝食マルシェを行ったという横浜の取組は素晴らしいと感じた。

会 長 : 横浜市は女性センターを含めて手間とお金をかけて、その他にもイベントを行っているので、横浜市の動きを見ると、どうやって市民との連携をしているのかわかるだろう。

委 員 : 女性の再就職支援について、私も子育てをしながらヘルパーとして働いているが、介護や子育てがあると仕事をしたいけれど難しい環境もある。働きながら自分をだせる場所があることは女性にとって大切だ。

会 長 : 横浜市は女性の再就職支援について、国や県の施設だけでなく、女性センターも3か所あり、充実している。

委 員 : 包括ケアという考え方の中で、地域生活支援に関してのコーディネーター、地域福祉に関してのコーディネーターなど、資源がなければ作ろうという取組が広がってきていて、間をつなぐ人はどんな分野でも必要になっている。福祉業界も民間のコンサルタントを入れたらどうかという試みも始まっていて、民間の知恵を借りながら、どうしたら色々な人が参加してくれるのかという試みが始まった。福祉だけでなく男女共同参画に関しても、間に入る人はとても重要だ。

会 長 : 男女共同参画の分野では、市役所だけでなく女性センターがコーディネーターになる。小平市では男女共同参画センターがコーディネートを行うことは難しいという前提で、地域や行政の色々な課の担当者が担うべきこと、実質的な動きを模索できれば将来的に形ができてくるのではないか。ニーズそのものはあると思うので、大学が果たす役割もあるだろうし、行政の役割もあるだろう。

委 員 : 働き方が変化している中で、より環境に合わせた事業を取り入れていると感じた。行政の働きかけについて、どう民間を取り入れるのかという点で工夫がなされていて、市民・事業者と近い距離で色々な取組をされていた。市の規模が大きいからできることもあるだろう。弊社にも多摩地域の市役所職員との交換制度がある。市役所へ行った方の話を聞くと、文化が違って驚いた、幅広い見解ができるようになったという意見があった。何かを考える時には幅広い知識や見解を持った人たちが集まることが大切だ。

委 員 : 横浜市は、企業を巻き込んでの施策は最先端の働きかけだった。M字カーブの底上げが課題と言っていたが、働きたいけれど地域や学校で子どもの問題

があると安心して働けない現実もあるのではないか。何かあったらすぐ飛んでいける職場で働けるのが理想だ。また機会があれば最新の横浜市のデータを踏まえつつ勉強したい。

会 長 : 教育の問題はどここの地域でも難しい課題である。

委 員 : 母親が働くのが当たり前の社会になるのであれば、何年かかってもM字の底が上がらない理由の1つには、子どもの教育に安心できないという面があるのではないかという分析もできると思う。

委 員 : 横浜市は市長も男女共同参画担当理事も女性だから、もっと進んでいるかと思ったが、LGBTについても女性の管理職についても特段進んでいるという印象はなかった。横浜市は大きいので進んでいて注目されることはあるだろうが、小平市と同様、色々な形で困難を抱えているのだろう。横浜市の取組は、小平市のあり方にも参考になるので、良い企画に参加できてよかった。

委 員 : 横浜市はとても輝いていて、取組は素晴らしいと感じたが、男女共同参画の指数は小平市と変わらないという印象を受けた。男女共同参画という目標に向けてのスタンスは同じなので、小平市らしいやり方でまちづくりができればいい。

会 長 : 現場の方から直接話が聞けて良かった。横浜市も地域によっては高齢化が進み、企業活動が停滞しているところもある。地域経済を成り立たせるためにも女性の職場での活躍が必要となってきたというのを読み取れる計画になっていると感じた。

議題（２）平成２９年度事業予定及び審議会の取り組みについて

⇒資料３ 平成２９年度 男女共同参画推進事業 年間予定表

会 長 : 議題（２）、平成２９年度事業予定及び審議会の取り組みについて議題とする。事務局より説明を。

事務局 : 資料３ 平成２９年度の男女共同参画推進事業の年間予定をまとめた。６月から男女共同参画担当が庁内に向けて、アクティブプラン21（第二次）推進状況調査（平成２８年度実績）を行う。まとまった段階で、男女共同参画推

進員会、男女共同参画推進本部に報告し、本審議会で意見をいただいて、再度、推進委員会、推進本部で決定し、10月には推進状況調査報告書を完成させる。同時に、今年度からの小平アクティブプラン21（第三次）の内容をどのように推進し、推進状況をまとめ、報告書としていくかを検討していくので、ご意見をいただきたい。審議会は今年度3回開催予定。その他、男女共同参画担当は、男女共同参画推進実行委員会、男女共同参画センター利用登録団体との共催事業を実施する。デートDV講座は、今年3回行う予定で、2月下旬は今年度初めて中学生向けに実施する予定。

会 長 : 男女共同参画推進審議会の役割の1つは、小平アクティブプラン21（第二次）の推進計画の最終年度の推進状況の実績を審議会として意見をまとめる作業。2つ目は新しい第三次の推進計画の進行管理の進め方について、新計画の着実な推進を後押しすることである。具体的な進め方としては、計画ができたあとの男女共同参画推進審議会は2回、特別な理由があれば3回となっているので、特別な理由があるということで3回開催をお願いした。着実な進行管理という点で、どういう作業が必要なのかご理解いただけと思うが、その為に3回必要だと考えている。男女共同参画推進審議会としてアドバイスをしたり、意見を出した方が有効である場合には意見を取りまとめてもいいと思っている。審議会の回数が限られているので、できるだけ会長、副会長、その他のお願いする委員の方と打合せをもって効率的に行いたい。会長主催の学習会についても、もう少し他市の状況や考え方を補っておいた方がいいという場合は開催を考えたい。

委 員 : 小平市の男女共同参画センター利用登録団体について、16団体とは少ないか。市内には他にも地域で活動している男女共同参画にかかわる団体があるのではないか。

事務局 : 市民活動団体は、元気村おがわ東の中にある市民活動支援センターあすぴあに、100を超える団体が登録している。男女共同参画に関する活動をしていても、活動拠点として地域センターや公民館で活動している団体は他にもあるのかもしれない。男女共同参画センターの利用登録団体になると、2年間の登録証を発行し、男女共同参画センターの部屋の事前予約、印刷機の無料貸し出しを行っている。男女共同参画に関するテーマは幅広いので、どんな活動内容でも登録をお受けしているが、団体の活動場所、団体の成り立ちや思い、構成が登録にいたらない場合もあるのかもしれないと感じている。

委員 : 市内には地域的にはもっと別のところが便利で活動している、様々な男女共同参画に関する市民団体とかNPO法人があるが、全体を巻き込む仕組みにはなっていないということか。

会長 : 主たる目的が男女共同参画だということは少ないのではないか。主事業ではないところが多いと思うが、男女共同参画に焦点をあてた市民活動がもっと増えてもいいのではないか。市役所側からの働きかけとか、公民館のロングの講座からグループが生まれる仕掛けが考えられるのではないか。

委員 : 男女共同参画センター利用登録団体が出てくるのは元気村まつりのことか。

事務局 : 男女共同参画センター利用登録団体の共通の活動の1つとして、元気村まつりに参加しているが、それぞれの活動も行っている。6月に行う男女共同参画週間講演会は16団体が集まって実行委員会を形成している。横のつながりが持てるよう、年に4回ほど懇談会を開いている。目指す大きな目的は同じなので、お互いの活動を共有しているが、中には市民活動支援センターとだけつながっていればいいという団体もあれば、それぞれの地域で活動していればいいという団体もあるのではないか。

委員 : 3月に中学生向けにデートDV講座を行うということだったが、どのように行うのか、詳細がわかれば知りたい。

事務局 : 進路の決まった頃、中学3年生の学年全体に出前講座をやらせていただくことになった。中学3年生にもなればお付き合いして当然だという考え方もあれば、まだ早いという考え方もある。現在、大学生向けには講座を実施しており、もっと若年層に働きかけかけられないかという意見をいただいでいて、今回1校で講座を実施することが決まった。詳細は調整中である。

委員 : どの中学校か決まっているのか。

事務局 : まだこれから詳細を決める。

委員 : どのような形で実施するのか決まったら教えてほしい。

委員 : 中学3年生で全然早くない。以前デートDVの被害者のケースを扱ったことがあるが、付き合う中で暴力だと思っていないというケースもある。本人だ

けでなく、保護者もきちんとした考え方を持っていない場合もあるので、中学校でやることはとてもいいこと。デートDVは男子から女子だけでなく、女子から男子の場合もある。

委員：是非とも学校公開中に行ってほしい。

事務局：DVの講座を行っているNPO団体では、小学校へ呼ばれるということもある
とのこと。まずは第1校目を慎重に実施したい。

委員：適切な時期に自分の身を守るということを学ぶのは良い取組だ。

事務局：新しい試みで、一定の配慮が必要な生徒さんもいると思うので、教育委員会と連携しながら進めていく。

委員：中には被害を受けた生徒、DV家庭で育った生徒もいると思うので慎重に取りかかるべきだ。

委員：両親のDVをみている生徒もいると思うので、配慮が必要。

委員：家庭でDVが身近にあるということは、日常生活のことだから難しい。

会長：家庭のDVが発見されてしまうこともあるかもしれない。

委員：虐待を受けている生徒が自分の被害を相談できる力、自分から声をあげる機会になるかもしれないので、様々な影響があることを念頭に行った方がいい。

委員：新しいことを始める時にはプラスの面もあればマイナス面もある。変化があればあつれきがあるのは当然である。

委員：中学校では人権週間にデートDVのパフレットやSOSカードを配付しているはずだ。

委員：デートDV被害を受けた際にどう対処すべきか、どう回復していくかについて、重点を置いて教えてほしい。嫌なことに遭遇しないように教育することも大切だが、そういった状況に遭った時にどう対処するのかを教えるのも大

切だ。

議題（３）小平アクティブプラン２１推進状況調査【平成２８年度実績】の調査票について

⇒資料４ 小平アクティブプラン２１推進状況調査【平成２８年度実績】調査票

会 長 : 議題（３）、小平アクティブプラン２１推進状況調査【平成２８年度実績】の調査票について。事務局より説明を。

事務局 : 資料４ 小平アクティブプラン２１推進状況調査【平成２８年度実績】調査票により説明する。

会 長 : 小平アクティブプラン２１の平成２８年度実績については従来と同じ作業により評価する。

委 員 : 各課が新しいことを始めた時に埋もれてしまうのではないかと。前年度と同様に書く必要はないと伝えてもいいのでは。せっかくやったことが埋もれなくていい。

委 員 : 公民館は毎年工夫して課題、解決策などわかりやすいように書いている。

事務局 : 第二次のアクティブプランは個別の事業が挙げられているので、公民館の事業のようにある程度大きなくくりになっている場合は、毎年個別の講座名等を書けるが、終了した事業も消せないし、新しい事業も載せられないつくりになっている。

委 員 : 平成２９年度予定欄は５分類を書くことになっているが、今年も同じか。

委 員 : ２年前からこの次年度の予定欄を設けた。それまではこの分類もなかった。分類ができてわかりやすくなった。

委 員 : 第三次アクティブプランは別のプランであるから、平成２８年度はこのまま平成２９年度の予定を書くということでもいい。

会 長 : 個別の事業で新しい第三次アクティブプランには記載されていないという事業はあるのか。

- 事務局 : ある。新しいアクティブプラン21は極力細かい事業名は載せず、大きな方向をどうしていくのかを書いている。平成29年度の実績については、各課の具体的な事業の実績を聞きとりしていくことになる。
- 委員 : 資料4の16ページ、メディアリテラシー育成のための講座は、平成28年度が未実施だが平成29年度も予定がないのか。
- 事務局 : 男女共同参画に関するテーマはいくつもある中で選んでいるので、続けてそのテーマは選ばなかったということ。メディアリテラシーの講座は平成26年度に実施したので、昨年度、今年度は別のテーマでの講座を行っている。
- 委員 : 今年度は第二次アクティブプランの最終評価年度となっているが、平成28年度のまとめと合わせて10年間のまとめを掲載するのか。基本目標の中でトピックスとなることだけでも入れてはどうか。
- 事務局 : 昨年度同様の平成28年度実績の要点はまとめる予定だが、10年間の総括は第三次アクティブプランの中に載せているので、第三次アクティブプランとの兼ね合いをみて作成する。
- 会長 : 前年度対比で実績がどう変化したかをみて、労力的にもできる範囲で全体のまとめをすることとしてほしい。

議題(4) 小平アクティブプラン21【第三次】の推進について

⇒資料5 小平アクティブプラン21【第三次】進行管理シート(案)

- 会長 : 議題(4) 小平アクティブプラン21【第三次】の推進について事務局より説明を。
- 事務局 : 資料5 小平アクティブプラン21【第三次】進行管理シート(案)により説明する。
第三次アクティブプランは、基本目標の下に施策と施策の方向性を置いて108事業あったものを52事業まで絞って、大きな事業のくくりにした。個別の事業について確認し、基本目標にどれだけ近づけたかを施策ごとにみていくために、資料5の小平アクティブプラン21【第三次】進行管理シ

ト（案）を作成した。

委員：事業概要までは市民協働・男女参画推進課で記入した状態で各課に提示されるということか。このシートは事業数の52シート出てくるということか。

事務局：第三次アクティブプランの内容はあらかじめ記入し、事業を行った各課に書いてもらうので52シート以上になる。

委員：新しい進行管理シート（案）は、とても良いと思う。ただ、事業概要と、「取組む事業の内容とめざす姿」は同じなので、なくてもいいのではないかと。シートの中に担当課名を書くところが3つあるが、1つでいいのではないかと。

事務局：事業項目は、大きなくくりになっているものがほとんどなので、概要を見ても担当課にとっては自分の課には該当しないと感じる部分が出てしまう可能性がある。課にとって、事業概要の中でも取組む事業の内容があったほうが評価しやすいのではないかとこの欄を作った。
担当課名の欄については修正する。

委員：担当課が1つしかない課については取組む事業の内容は何を書くのか。年度ごとにより具体的に目指す姿があるといい。

事務局：年度ごとに目指す姿を具体的に書いてもらってもいいと考えている。

委員：複数担当課がある事業項目だけでなく、全ての課に書いてもらうということか。年度ごとに具体化する言葉が違ってくるのではないかと。

事務局：年度ごとの取組と実状なので、同じ内容でも良いと考えている。概要よりもより具体的に書かれると想定している。

委員：メールで各課に送信して書いてもらうということか。吹き出しなどの説明をつけないと書き方がわからないのではないかと。

事務局：吹き出しなど、記入例を書いてわかりやすくする予定だが、初年度は直接各課へ行き、例を見せて、こういう書き方を想定していると直接やりとりする予定である。

委員 :他の課でも似たようなフォーマットで調査を行っているところが増えてきたのでわかっているはずではないか。

委員 :市役所の他の計画の進行管理シートとの共通性はあるのか。

事務局 :市役所の中にはこのような進行管理シートを使っているところもあるが、統一されていない。このシートは先進市を参考にして作ったもの。

委員 :行政経営課が数年前からこのような形式をとっているはずだが。

委員 :進行管理シートが書きやすくなるのはいい。これからこのような形が市役所の中で標準化していく、先例となるのはとてもいいことだと思う。

委員 :この進行管理シートだと整理しやすく管理しやすくなる。何よりも文字が大きいのが見やすくていい。

会長 :進行管理については、個別の事業について各課から報告をもらうということは必要なことだが、もう1つ大きくりの進行管理をどうやって実施状況を把握するのか、どのように指標を取り扱うのか、ということがある。

事務局 :推進状況調査報告書にするときは、施策、施策の方向性ごとにどうだったのか、各課の数字や具体的な内容を確認した上で、進んだところ等を集約したい。各課から提出されたシートは公表しない予定。あくまでも評価のポイントは、施策の方向性がどう進んだかということ。進んだところ、進んでない所をみて全体的に評価したい。

委員 :事務局の負担にならないか。

委員 :まとめないと52ページ以上になってしまう。

委員 :手間暇かからないようにした方がいい。5年後にきちんとしたものになればいいのではないか。

事務局 :各課からの進行管理シートは、施策の方向性についてまとめるためのもので、まとめを事務局で作成して、施策の方向性について評価する予定。

会長 :この進行管理シートは個別事業の集約なので、男女共同参画の柱になるもの

が進んだのか進んでいないのか、市民にはわからない。基本目標、施策、施策の方向性レベルで報告書を出すと翌年度どうしていきべきがわかるので、事務局が集約する価値はある。

委員：平成28年度の実績調査はもう各課に渡っているのか。平成29年度のシートはいつから記入するのか。

事務局：第二次アクティブプランの推進状況調査票は、本日の審議会後各課に調査予定。平成29年度の進行管理シートは来年の6月頃になるのだが、その前段でこういう形で聞いていくというのは今年度中に決めて各課に示していければ各課の意識が変わると考えている。第2回目の男女共同参画推進委員会、男女共同参画推進本部でこの進行管理シートを示したい。

委員：8月の男女共同参画推進審議会では決まった物が出されるということか。平成29年度取組んだことを評価するということなら、今年度既に事業を進めているので、どの観点で評価をするのか分かっていたほうが仕事の効率が良いのではないか。市役所の職員には負担感がないのではないか。

事務局：8月の審議会までに決定するのは難しい。9月末の第2回男女共同参画推進本部で庁内の意思確認ができるので、3回目の審議会では決まった物が提示できると思う。

委員：本来は第三次アクティブプランが走り出す前に、この進行管理シートが各課に提示できていることが理想だった。できるだけ各課に負担をかけないように、進行管理シートを書いてもらえるようにしてほしい。

委員：推進状況調査報告書が出てきた時に、男女共同参画推進審議会として確認する。先に提示することで何のためにこの事業をやっているのか分かってもらうためにも必要だ。

委員：進行管理シートの評価欄は、担当課が担当課で評価するということか。市民がどう感じているのか、市民目線での評価はどこですか。

会長：市民目線レベルを男女共同参画推進審議会で評価するというのが、審議会の役割の1つでもある。現状では審議会が評価してから公表されるので、公表後の段階で一般市民や団体に見ていただいている。

委員 : 新しい進行管理シートは本当に良い案だ。各課から出てきた進行管理シートを市民協働・男女参画推進課がどうまとめるのかという例示があると担当者も書きやすいし、お願いもしやすいのではないか。

事務局 : 各課に配付する進行管理シートを作成するところまでで、どうまとめるのかはまだ考えられていないので、今後検討する。

会長 : 3つの重点項目については、どのように取り上げるのか。

事務局 : 施策の方向性の1つなので、事業項目ごとに評価をした後に重点項目の評価を3つ取り上げるなり、さらにコメントをしていくなりしていきたい。男女共同参画担当としては5年間の中で、今年度は重点項目の1番上に出てくる「男性の家庭参加の推進」について取組みたいと考えている。「配偶者等からの暴力(DV)の防止と被害者支援の充実」については今年度はじめて中学校でのデートDV防止講座も始まるので進めていきたい。「女性の就業・活躍の支援」については女性の就労支援施設「すだち」と連携していきたいと考えている。

会長 : 「男性の家庭参加の推進」については新たな取組はあるか。

事務局 : 現在、決まっている講演会や講座はないが、男女共同参画推進実行委員会が作成している広報誌のテーマとして男性の家庭参加を取り上げてほしいと担当からは提案している。子育て部門、公民館など講座や事業を持っている課には男性の家庭参加のテーマを取り上げてほしいと呼び掛けている。

会長 : 進行管理について他にあるか。

委員 : 事業者では、このような期末の評価はあるのか。

委員 : 弊社では四半期ごとに評価を行っているが、途中経過の進行管理シートがあることで日々の業務に追われるだけでなく、メリハリがついて良い。取組む事業の内容、めざす姿があると評価が行われた背景がわかって良い。こういった進行管理シートがあることで、取組む事業内容、取組む姿があるので担当課の評価を見た時にも審議会委員の立場としてもわかりやすい。

会長 : 進行管理シート(案)については基本的にこの方向で進めていくということ、

その後、施策や施策の方向性ごとの大きくくりの次元で個別の事業の推進状況を進行管理シートから集約をしていくということで引続き作業をしていただくこととする。以上でこの議題を終える。

事務局 : 次回の日程について、第2回男女共同参画推進審議会は8月18日(金)13時半から市役所3階の庁議室で行う。議題は、第二次のアクティブプラン21の推進状況調査報告書について。委員の皆様には事前に書類をお送りするのでご意見を頂戴できればと考えている。

会 長 : 以上で平成29年度第1回小平市男女共同参画推進審議会を終了する。